

お気に入りのスポットで愉しむ

さらめく 水辺の情景

卷頭特集

P22

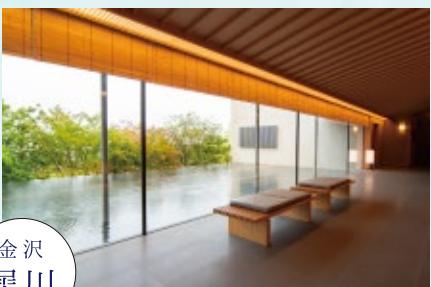
おとカフェ



金沢
犀川

P24

谷口吉郎・吉生記念
金沢建築館



金沢
犀川

P28

富山県美術館



富山
富岩運河
環水公園

P32

番屋カフェ



射水
内川

P23

穂濤（旧杉の井）



金沢
犀川

P26

Café Lente



湯涌温泉
浅野川支流

P30

蝴蝶



山中温泉
鶴仙渓



P22

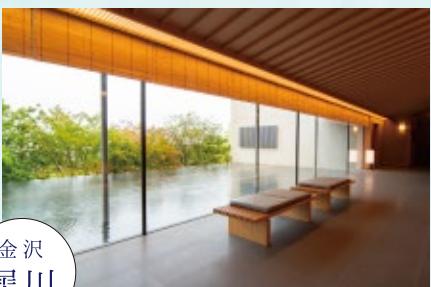
おとカフェ



金沢
犀川

P24

谷口吉郎・吉生記念
金沢建築館



金沢
犀川

P28

富山県美術館



富山
富岩運河
環水公園

P32

番屋カフェ



射水
内川

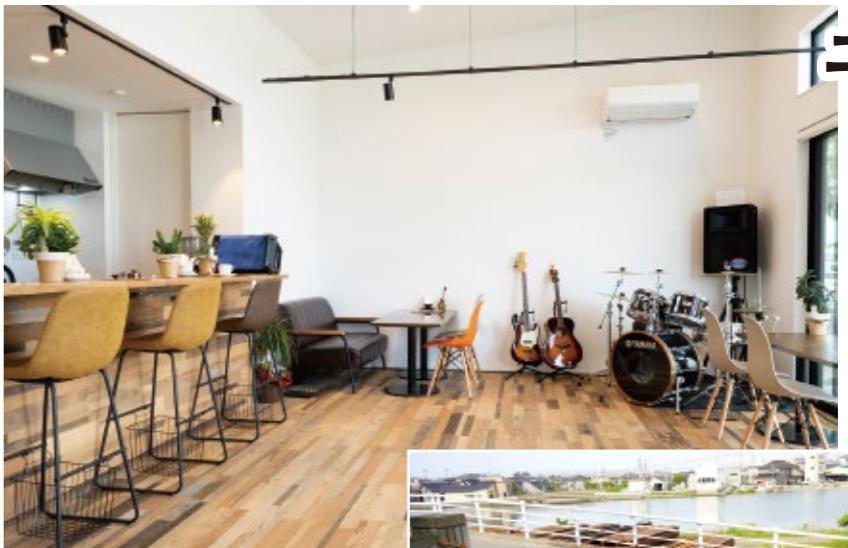
音楽と珈琲が好きな大人が集うカフェ

犀川の河口、金石港の船だまりを望むリバーサイドの絶景カフェ。転勤族だった店主が脱サラし、2021年にオープン。定番のブレンド珈琲でくつろぐもよし、昔ながらのナポリタンやグリーンカレーで腹を満たすのもよし。クロワッサンワッフルプレート750円もおすすめで、バター風味が効いて外はカリッと中はもっちり。

店内には店主の趣味でギターやドラムセットが置いてあり、音楽好きの仲間が集まり不定期にミニライブも開催するやう。



ブレンド珈琲500円でゆったりくつろげる

昔ながらのナポリタンスペシャル(ミニサラダ付)
1200円、クリームソーダ650円

天候次第では白山や立山の峰々も望めるテラス席でゆったりとした時間を過ごそう

文豪、室生犀星が愛した
大らかで美しき流れ

穂濤（旧杉の井）



明治時代の邸宅を改装した本館は個室が6室



くずし会席瀬音5000円～。献立は月2回替わる



無垢の栗材や地元産の石材といった自然素材を生かした離れの空間



打水をした本館のアプローチは日本情緒たっぷり

穂濤（旧杉の井） ほなみ（きゅうすぎのい）

076-243-2288 住 石川県金沢市清川町3-11
時 11時30分～13時LO、17時～19時30分LO(昼夜とも要予約)
休 不定期 P 20台

料亭理、器、設え、接客において、料亭のあるべき姿を具現する。明治建築の邸宅を改装した風雅な座敷、増築されたモダンな離れ、端正な日本庭園から成る。料理は、素材の厳選から盛付まで正統に則った会席料理や加賀料理で、器づかいも見事。昼の会席9,000円～、夜は1万6,000円～。気軽に料亭の味を楽しめる離れでの昼のくずし会席料理は女子会に人気。冬はブリや根菜といった食材が旬を迎える、九谷焼などの器を美しく彩る。デザートは吉野葛を使った名物くずきり。雪吊りを施した庭園を眺めながらゆったりと味わえる。



流し雛をかたどった、室生犀星文学碑。犀星自筆の陶板には「小景異情」の一節、「あんずよ花着け地ぞ早やに輝けあんずよ花着けあんずよ燃えよ」の詩が刻まれている。



江戸時代は木造だった犀川大橋。現在の橋は大正13年に架け替えたもの。かつて、この橋のすぐそばには風流な屋形船が2艘繋がっていたが、昭和48年ごろには河川改修のためになくなつた。



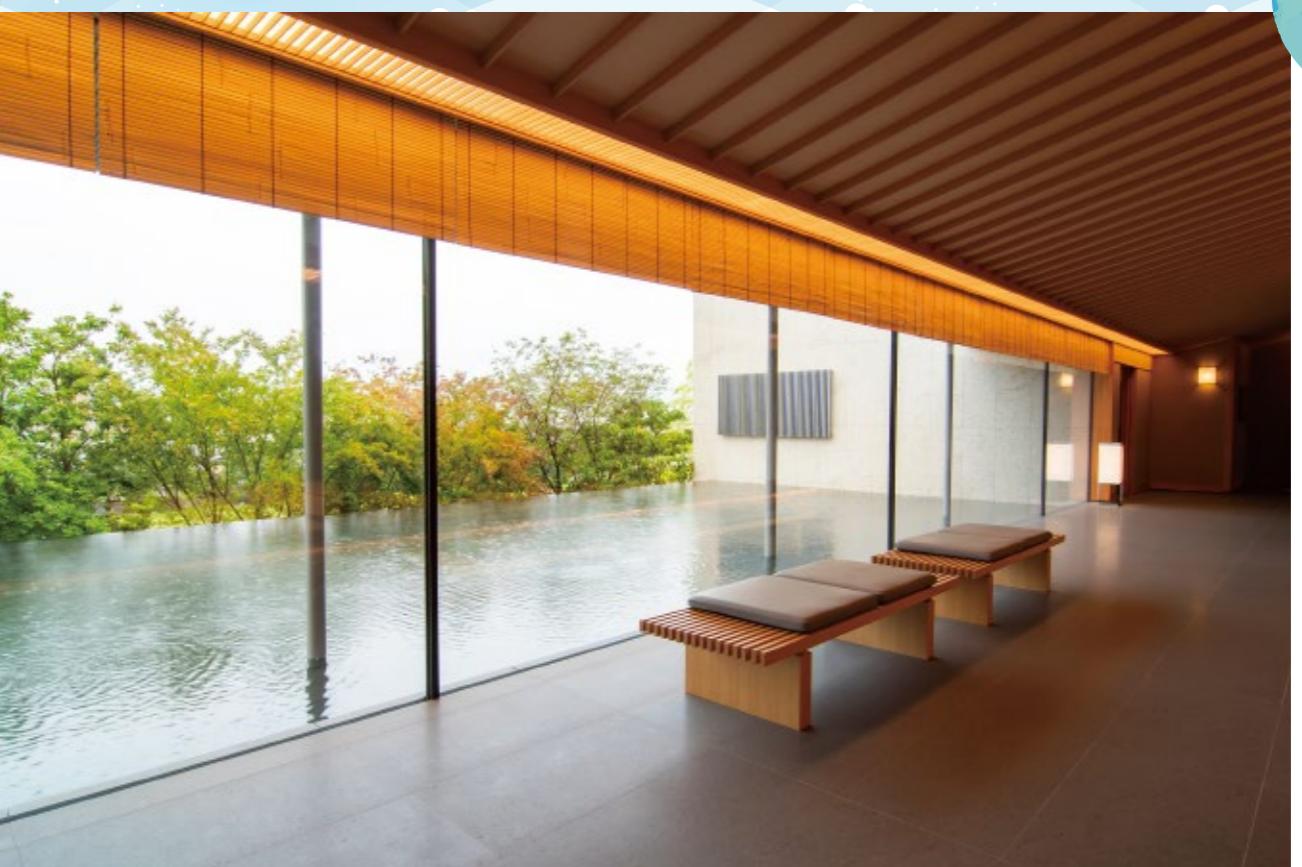
桜が咲き誇り、河川敷をピンクに染める春爛漫の景色。

生犀星はこの犀川の風景をこよなく愛し、「美しき川は流れたりそのほとりに我はすみぬ」というように、作品には何度も犀川のくだりが登場します。犀川大橋から上流の桜橋までの間には、川の両岸に犀星のみちが整備され、右岸には流し雛をかたどった文学碑も立っています。犀川は日本海に注ぐ二級河川で、金沢の南にある奈良岳が源流。金沢市街地を流れ、金石地区で日本海に流れ込んでいます。

谷口吉郎・吉生記念金沢建築館

**研ぎ澄まされた
建築美に感嘆**

2019年7月、金沢市出身の建築家・谷口吉郎氏の住まい跡に開館。

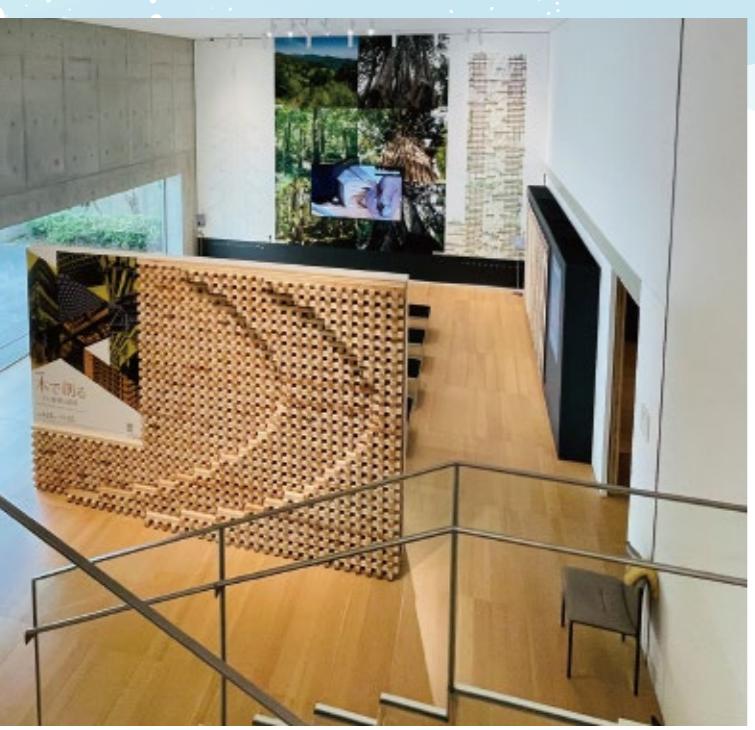


游心亭の広縁から水庭を望む。視線の先には犀川の流れも

常設展示室には吉郎氏の代表作である「迎賓館赤坂離宮和風別館游心亭」の広間と茶室が再現され、細部まで手の込んだ意匠が見もの。匠の技を生かした日本建築の粹を間近で見ることができます。建物の設計は長男の吉生氏によるもので、親子の世界観に触れられる。地下1階の企画展示室では、年2回程度の企画展示を開催。建築や都市に関するテーマを、分かりやすい展示で紹介している。



海外の賓客のために立札席を設けた茶室



建築や都市に関する企画を行っている。第5回企画展「木で創る」は11月27日まで開催



町並みに調和する外観

谷口吉郎・吉生記念 金沢建築館
たにぐちよしろう・よしおきねん かなざわけんちくかん
076-247-3031 住 石川県金沢市寺町5-1-18
時 9時30分～17時(入館は～16時30分)
休 月曜(祝日の場合翌平日)
料 常設展310円(企画展は別途料金必要) Pなし



道路上の御影大橋はこんなふう。都市景観に配慮した色や形が特徴で、下流側に設けられた歩行者・自転車専用橋には、橋名にちなんだ御影石が使われている。



犀川神社を出発してすぐ、交通量の激しい御影大橋の下をくぐる。長さ108.6m、幅員24.5mの大橋。



境内に本殿、拝殿、稻荷社が建つ犀川神社。明治6年(1873)に現在の犀川神社に改称したそう。

犀川の河川敷はグリーンベルトのように長く延びていて、市民の憩いの場。犀川大橋と御影大橋の間に石の県民海浜公園あたりまで、犀川サイクリングロードが約8km整備されているので、ぜひチャレンジしてみてください。

この出発点にある犀川神社は、天正2年(1574)に前田利家が奈良の春日大社からご祭神を迎えたと伝わり、由緒ある拝殿で安全祈願をして出発。車は通行禁止のロードなので、示野橋などいくつの橋の下をくぐり抜けてノンストップで楽しめるのも魅力です。

Café Lente



かぼちゃのカレーグラタン(北袋町のパン店コビ・ルックのミニパン2個付)600円



カウンター席も用意されている

Café Lente 080-3048-3732 住 石川県金沢市湯涌町イ17-3
カフェ レンテ 時 10~17時 休 火~木曜 P 2台



プリンやラムレーズンケーキなど3つの味が楽しめる、スイーツプレート600円



ラテン語からとった店名で「ゆっくり、ゆったり」という意味



窓外に渓谷美が広がる店内。店主が造ったテーブルなどの家具にも注目したい



ギターやドラムなどの楽器や音響設備などが整った店内。不定期だがライブやジャムセッションが行われる

音 楽好きの店主夫妻が営む、落ち着いた大人の空間。加賀産のスギ材や越前和紙、奥能登の珪藻土など、自然素材をふんだんに使って仕上げられた店内は、靴を脱いで上がるスタイル。友人宅に訪れたようなりラックスした雰囲気が心地よい。主人が淹れるハンドドリップコーヒーを待つしばしの間、流れるジャズに耳を傾け、緑濃い窓外の景色を楽しむのも一興。金箔を浮かべる金沢らしいコーヒーもおすすめだ。かぼちゃのカレーグラタンやフルーツサンドなどの軽食のほか、自家製ブリーフなどのスイーツも充実。店名の通りゆっくりくつろげる。

特に、昔懐かしい木の橋が架かり、格子のお茶屋建築が軒を連ねる主計町界隈は和の趣たっぷりで、そぞろ歩きに好適。春は桜並木が彩りを添え、右岸に広がる卯辰山の豊かな自然も心和ませる景色です。



浅野川大橋の下流に架かる「中の橋」からの眺め。「中の橋」は歩行者専用の木橋。



並木町と東山の間に架かる「梅ノ橋」。高欄と桁隠しが木製でフォトジェニックなたたずまい。



橋場町と東山を結ぶ「浅野川大橋」。3連アーチが美しい現在の橋は大正時代につくられた。

和の風情が漂う界隈を
穏やかに流れゆく

浅野川は、金沢市の南東、富山県

との県境に位置する順尾山(すんのやま)を源とし、金沢市街北東部を流れ、大野川に注ぐ二級河川です。

上流には「金沢の奥座敷」と称される湯涌温泉、金沢市街の中流域には江戸時代から続くひがし茶屋街や主計町があり、共に代表的な観光名所となっています。

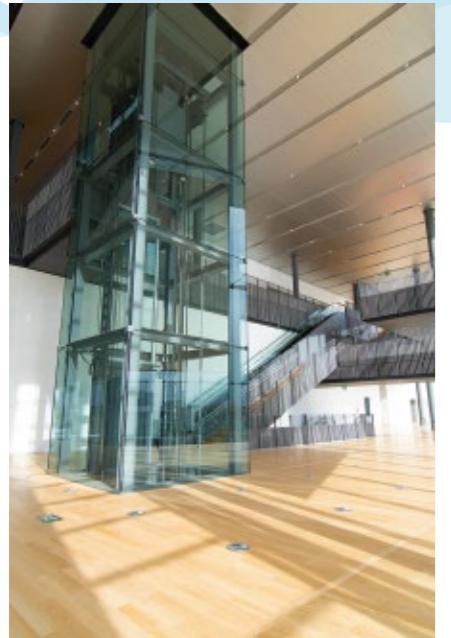
特に、昔懐かしい木の橋が架かり、格子のお茶屋建築が軒を連ねる主計町界隈は和の趣たっぷりで、そぞろ歩きに好適。春は桜並木が彩りを添え、右岸に広がる卯辰山の豊かな自然も心和ませる景色です。

浅野川

あさ の がわ



富山県美術館



自然光に満ちた吹き抜け。静寂で閉じた空間の
展示室との対比にも注目



オノマトべの屋上には、擬音語、擬態語の名前が付いた個性的な遊具が並ぶ



20世紀の椅子コレクションは約3カ月に1度展示替え



3500点のポスターをデータ化したポスタータッチパネル



オノマトべの屋上の
遊具をモチーフにし
た、ぶりぶりバーバー
ウェイト1個3300円



立山連峰に向かって全面ガラス張りになっている



壁や天井に富山県産のスギなど使った木の温もりあふれる廊下

河べりに芝生が広がるみずみずしい
富岩運河環水公園の一画に位置。吹
き抜けのガラスの向こうには立山連峰の
雄姿も望める絶景の美術館。
常設のコレクション展では、世界の巨
匠、ピカソやロートレックなどの作品をは
じめ、1万4000点あまりのポスター、
約170種の椅子といった収蔵品を約3
カ月ごとに展示替え。国内外の名作椅子が
並ぶ展示室にはガウディがデザインした
椅子もあり、実際に座れるものも。屋外広
場の大中小のクマの彫刻や屋上のユニ
クな遊具などは子どもにも人気。

※現在コロナ禍のため休止中。再開は未定です。

手仕事が息づく富山 ならではの美意識を反映

開放感溢れる水辺の公園で
散策やクルージングを

富岩運河



富岩運河環水公園から中島閘門(こうもん)
や岩瀬浜までのクルーズを体験できる「富岩
水上ライン」も運航(冬季運休)。



通年、日没後からライトアップされる富岩
運河環水公園。四季ごとに異なるイルミネー
ションにも注目だ(写真は2月撮影)。



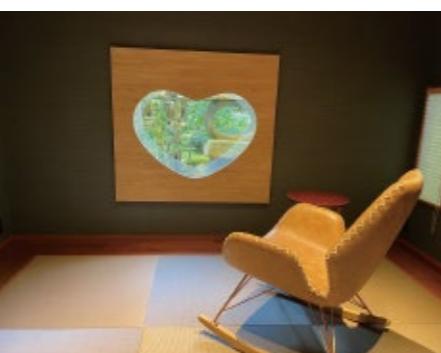
富岩運河環水公園のシンボル「天門橋」。
両側には高さ20.4mの展望台があり、雄
大な立山連峰を望める。

富岩運河は昭和初期に富山市街
と東岩瀬港を結ぶ水運の要として
つくられました。陸運の発達と共に
その役割を終えましたが、舟だまり
を利用して整備されたのが「富岩運
河環水公園」です。
爽やかな水の景色が広がり、周囲
には遊歩道や芝生のスロープなど
が設けられて、水と親しむ市民の憩
いの場となっています。
眺望抜群の「天門橋」や水のカーテン
がすがすがしい「泉と滝の広場」、水辺の鳥を観察できる「あいの島」などの施設を巡りながら散策を
楽しむことができます。

蝴蝶

玄関先の落ち着いたたたずまい。チェックインの手続
きは客室でOK

温泉は露天風呂付きの「月かけの湯」と鶴仙渓を望む「川かぜの湯」。家族で楽しめる貸し切り風呂もある

ある日の朝食。焼きたてのハタハタに赤イカの造り、ゴリの佃煮など6~7品と焼きたて
のコシヒカリミニマムで和モダンな露天
風呂付き客室「岩船」。2021
年秋にデザイナーズスイー
トとしてリニューアル

胡蝶
こちょう

0761-78-4500 住 石川県加賀市山中温泉河鹿町ホ-1
時 時 チェックイン14時、チェックアウト12時
料 料 1泊2食1人3万3000円~(1室2名)
P 30台(無料) 客室数 10室



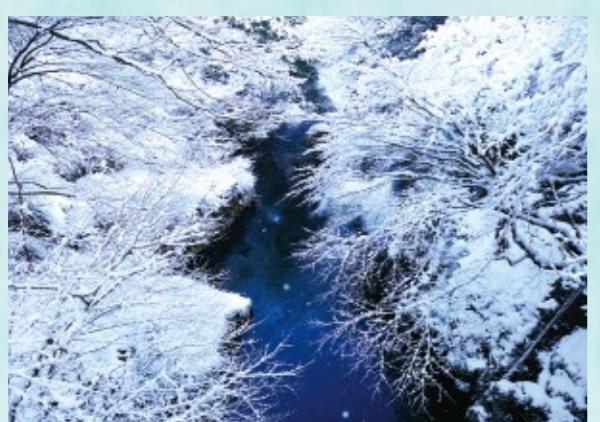
北陸の季節の幸がふんだんに盛り込まれた料理を満喫。「器は料理の着物」といわれるよう、まさにお似合い



白然豊かな鶴仙渓沿いに立つ端正な日本旅館。手入れの行き届いた日本庭園に、書院造りの2階建て特別室・聚樂第と数寄屋造りで控えの間付きの客室が9室だけという贅沢な空間となっている。

料理は赤坂の料亭で修業を積んだ主人が自ら腕を振るう。地元の旬の食材や郷土料理を取り入れて、洗練された味わいや山中漆器など目にも楽しい器使いも地元ならでは。

露天風呂付き客室もあり、食事も部屋でいただけて、心身ともに癒されるくつろぎのおこもりステイが叶う。

紅葉に彩られる総ヒノキ造りの「こおろぎ橋」。
山中温泉を代表する景観だ。

雪化粧の鶴仙渓は水墨画のような静謐な趣に。



「あやとりはし」のたもとでは4月1日~11月30日に「鶴仙渓川床」を開設。溪流のせせらぎをBGMに地元出身の料理人、道場六三郎氏監修によるスイーツが味わえる。

旧加賀藩家老横山家の書院を移築した「無限庵」やS字型にデザインされた斬新な「あやとりはし」、奥の細道行脚で山中温泉を讃えた松尾芭蕉を祀る「芭蕉堂」など名所も点在し、見どころ豊富です。

季節で移ろう渓谷の景観その迫力と美しさを間近で
山中の温泉街に沿って流れる大聖寺川の渓谷です。上流のこおろぎ橋から黒谷橋までの1・3kmに遊歩道が整備されており、大自然がつくりあげた渓谷美を間近で見られるのが大きな魅力。四季折々の景観や随所にある奇岩や滝などを眺めながら散策が楽しめます。

鶴仙渓

かくせんけい

季節で移ろう渓谷の景観
その迫力と美しさを間近で

番屋力 フエ

**海と海をつなぐ運河、
内川の河畔**

北 前船の寄港地として栄えた
港町、新湊エリア。川沿いに
整然と連なる古民家の様子がノス
タルジックで、映画『人生の約束』
のロケ地にもなった。

この内川運河に臨んで立つのが、築100年以上の歴史ある建物を利用した番屋カフェ。かつて廻船問屋だったという建物内から、船が係留される水辺の風景を眺めながらカフェタイムを楽しめる。人気はチョコバナナや抹茶、ベリーの3種から選ぶワッフル700円。パフェ好きなら4種から選べる番屋パフェ700円を。コーヒーでゆったり過ごすもよし、ランチに利用するのもいい。



内川がすぐ目の前。ここからすぐ船に乗っていける

内川

うち
かわ

ユニークな橋が架かる
ノスタルジックな港町の運河

内川は射水市新湊の放生津地区
を東西に流れる運河で、富山新港か
ら奈吳の浦までの約2・6kmです。
川沿いに民家が立ち並び、両岸にず
らりと小型の漁船が係留されてい
る様子は、懐かしい港町そのもの。

郷愁を誘う町並みは、映画やドラマ
のロケ地になりました。
さらに、屋根のある橋やモニュメ
ントが付いた橋など、インパクトの
ある個性的なデザインの橋が10以
上も架かっているのが見どころと
なっています。一つ一つ渡りながら
楽しむのが定番ですが、観光船で下
から見上げるのも一興です。



海王丸パークから出港した内川巡りの観
光船と、巨大な手の彫刻がある山王橋。



漁船が並ぶ光景に人々の暮らしが垣間見える。



冬晴れの内川。雪景色のひなびたたずまい
にも趣あり。



ドリンク付きのベリーワッフルセットは900円



メイン3種から1つを選ぶ、満腹ランチ850円。からあげには大漁旗が

番屋カフェ
ばんやかふえ

0766-75-7477 住 富山県射水市放生津町17-5
時 9~17時 休 水曜 P 公共駐車場利用20台

内川に向かって設置されたカウンター席がおすすめだ

